



みどりっこバスはお正月3日間お休みします。※割引回数券を愛顧いただき、ありがとうございます。券面に有効期限が記されていますが、バスが走る限り、無期限です。

新成人を祝います。1月11日、11時より東部ミセンで、芥見南自治会連合会と共催で開かれます。

一筆啓上 共に心を寄せ、生き合うまち



一岐阜市教育長 安藤 征治さん
私は芥見東自治会だよりの愛読者の一人です。これほど地域の様子が生き生きと読み取れる広報紙は他にないと思います。それは、地域にお住まいの方々の投稿によって編集されているからです。

単なる行事の紹介ではなく、そこに参加した人の思いが伝わってきます。地域の課題への無責任な批判ではなく、共にその解決に向かって努力しようという呼びかけに共感できます。まさにそこに住んでいる人々の息遣いが感じられる紙面に惹かれるのです。みどりっこバスのヘルパーさんの活動はじめ、皆さんがそれぞれに地域のために出来ることを考え、実行されている姿に感動を覚えます。

これからは共生の時代です。老若男女共に心を寄せ合い、共に生き合う地域づくりのモデルとしての芥見東地域の明日に、大きな期待を抱いています。 □■



12月9日 藍川東中校内駅伝大会で
一生懸命はかっこいい
一大会スローガンより
写真撮影:大塚教頭

地元への熱き想い

議員は燃える(4) 地域主権のまちづくり

一桜台在住岐阜市議員・外山 正孝さん
皆さま方には、輝かしい新年の門出をお迎えになられたことと心からお喜び申し上げます。

さて、地方自治体では、首長と議員が共に住民から直接選挙によって選ばれる2元代表制をとっており、いずれもが住民代表として、対等で緊張した関係を保ちつつ、自治の発展に当たるという責任を負っています。一方、地方分権が広がり、各地各様の地域づくりが進む中、地域住民の思いを行政に反映させ、「地域のことはそこに住む人々が責任を持って決める」ことのできる活気溢れた地域社会をつくる必要不可欠です。そのために地域代表の我々議員が果たす役目は大きく、責務の重さをひしひしと感じている昨今です。

まず何より、地域住民の皆さまが望む地域像を構築しなければなりません。ぜひ、この地域の発展のため、「このまちをこうしたい」という皆さまの声をお寄せください。共にまちづくりに生かしていきましょう。 □■

新年ご挨拶 “3つの夢”の実現を目指します

一芥見東まちづくり協議会・自治会連合会々長 多田 喜代則
新年あけましておめでとうございます。私たちは、本年も元気で活力あり、優しさや潤いに満ちた地域づくりに住民の皆さんと心を合わせ、力を結集してまいります。
第一の“夢”:**みどりっこバス**の本格運行です。
第二の“夢”:**「大洞里山をつくろう会」**の活動です。
第三の“夢”:**災害時要援護者救出体制**の確立です。

みどりっこバスは、おかげさまで間もなく**乗車10万人**を迎え、**いよいよ4月から本格運行へ移行**できることが内定しました。お客さん同士の四方山話、ヘルパーさん、運転手さんとの交流…**今年も楽しくご利用ください。**

第二、第三の夢については、次号でご説明します。

《11月度の利用者数と運賃収入の実績》

1日平均利用者数	実績:173.9人	目標:170人
1ヶ月運賃収入	実績:41.6万円	目標:38万円

姉妹都市では? 富山市の交通政策展望

一富山市交通政策課主査・岩田 裕史さん
(前みどりっこバス運営協議会岐阜市委員)
出向先の富山市は、岐阜市同様に自動車社会で、加えて高齢化、市街地の人口拡散による行政コストの増加など、まちづくりに様々な課題を抱えています。

一方、市内を走っている鉄道や路面電車などを活かし、その沿線に居住、商業、業務、文化等の機能を集めることによる『公共交通を軸とした富山市型のコンパクトなまちづくり』を進めています。

その先導的プロジェクトとして全国的にも有名なのが2006年4月にLRT(低床路面電車)化された富山港線富山ライトレール(写真)です。開業後、利用者は2倍以上に増え、沿線の活性化にもつながっています。



そのほか、JR高山本線の増便、臨時駅の設置、路面電車の環状化(セントラム)に取り組み、北陸新幹線開業後は市内25kmに及ぶLRTネットワークが構築される計画です。

また、バス交通では、コミュニティバスの一つとして「自主運行バス」が走っており、地元で運営組織を作って交通事業者と契約し、地元の企業や住民も協賛して、住民の日常の足として利用されています。 □■

*「こうしては？」のご意見や話題・知恵・要望などを、ご連絡先を付して東公民館ポストまでお寄せください

配布

大洞	4-81
東山	3-55
北山	38-363
コモン北	6-87
桜台	23-333
桜市	41-314
柏台	31-333
柏市	26-218
桐丘	23-199
桐市	6-44
紅葉	21-268
紅市	16-140
桜2P	1-27
計239	
/2462	

起業体験 鶉の刺し子の万能クロスはいかが？

—とびだせ！がってんプロジェクト社長・齋藤 汐帆さん
 私たち藍川東中学校の2年生は、総合的な学習の時間に1つの会社を作り、商品を企画して売るという「とびだせ！がってんプロジェクト」を行っています。



今年は、飛騨高山から取り寄せた上質な大判の布に鶉飼の鶉を刺し子にしました。商品名は「マジッククロス うっかー」。刺し子の下絵を描くところから始め、1針1針真心を込めていねいに縫いました。1辺が約46cmの正方形なので、ハンカチ、ナフキン、ふきん、テーブルセンターなど、色々な使い方ができます。

今年も昨年同様、コープぎふ芥見店さんにご協力いただき、販売します。ぜひ足を運んで、見てください。

販売日時： 2月6日(土) 午前10時から12時頃
 (限定150枚のためお早めどうぞ)

販売価格・場所： 1枚500円・コープぎふ芥見店で

水防団活動 必死で長良川流域を守る

—芥見水防団団長・亀山 卓央さん

昭和34年9月、台風15号(伊勢湾台風)による、集中豪雨の大洪水は長良川、津保川に及び、大退地区堤防を越え、奔流が低地家屋に浸水、また、長良川町屋地区天王裏堤防は徐々に水流にえぐられ、決壊し家屋を次々と押し流すという大水害をもたらしました。

翌年、台風11、12号による集中豪雨は、私たちの必死の積み土嚢作業にもかかわらず、焼け石に水で、伊勢湾台風で決壊した天王裏堤防下流が180mも決壊し、家屋が次々と濁流に吞まれました(写真)。

平成16年、台風23号による集中豪雨で、伊勢湾台風を上回る大洪水となり、町屋地内堤防上から手が洗える位に水位が上がったため、藍川橋上流で、80m にわたり積み土嚢工を実施しました。幸い越水には至りませんでした。

本年、設立50年を迎える私たち水防団は、河川流域の住民を洪水や水難から守るため、今後も団員一丸となって活動してまいります。 □■



恵まれない国 孫が新型インフルに罹って…

—紅葉が丘支部・M子さん

新型インフルエンザが大流行しています。私の4才の孫も感染してしまい、とても心配しましたが、すぐにタミフルを処方してもらい軽くてすみしました。

ホッとしているところにユニセフから手紙が届き、恵まれない国では、乳幼児が3秒に1人、栄養不良や予防接種を受けられずに命を失っているのを知りました。今までなら「気の毒やなー」で終わっていましたが、孫が助かり、平和な国に生まれたおかげをかみしめました。

その日本も戦後の荒廃期には、ユニセフから多くの援助を受けていたそうです。孫と同じ年ごろの子どもの写真がありましたが、その子の悲しげな瞳が胸に突き刺さってきました。ユニセフへ3,000円募金すると、1,500人の子どもに、免疫力を高め感染症にかかりにくくするビタミンAを1年間投与できるそうです。 □■

ふるさと コモンヒルズ北山の今昔に想う

—桜台支部・ITさん

コモンヒルズ北山の造成工事が始まった頃、東公民館で運転免許の講習を受けたことがありました。その時、講師の方が、この団地が10年後に完成したときには、団地への道路が1本しかないの、大変な状態が予想され、今から心配であると言われました。

奇しくも今年が、ちょうど10年になります。たまたま、先日、友達が遊びにきて周辺を車で案内した折、コモンヒルズを通して驚いたのは、上の方はともかく、中央辺りから下は、一面、ススキ野と化した状態でした。

これから10年後は？この地に子どもたちの笑顔や歓声が聞かれるのは夢でしょうか。 □■

高齢化社会 近所に関心を持ち助け合っ

—桐が丘支部長・山口 篤美さん

師走ともなると世の中なんとなく騒がしいが、退職してからというもの毎日のんびりと暮している。在職中は、地域や自治会の事は全て家の者に任せてきた。

図らずも今年度、自治会に関わることとなり、諸々の行事をこなしながら、この地域も高齢化が進んでいるなど実感した。我が家も90歳の母を抱える高齢者世帯である。この先を思うと一抹の不安がある。自治会の在り方も実情に即した活動を考えていく時かと思う。昔のように近所に関心を持ち、助け合うことが必要だ。

とはいえ、将来を案じてばかりいてもはじまらない。「人生は楽しむもの」。元気なご同輩を見習って、「楽しい人生だった」と言えるよう努力することにしよう。 □■

「交通安全協会芥見東宇野支部長より」本年も安全で快適な交通社会を目指し、皆さま方と連携を保って交通安全活動を展開してまいりますので、ご協力方よろしくお願ひします。